

未来を拓くユイマール隊の取組

家庭・地域・関係機関と連携して

沖縄県沖縄市立美里小学校

はつめい

沖縄市は沖縄県で那覇市について2番目に人口の多い市です。15歳未満の年少人口の割合が全国1位で、平成19年度に「こどものまち」宣言をしました。また嘉手納基地など多くの米軍基地を抱え、国際色豊かで、独自の文化を持ち、芸能も盛んでエイサー等のまちでも知られています。

沖縄市では平成20年度から学校支援地域本部事業を取り入れ、3年目に入ります。本校は児童数793名の中規模校ですが、創立128年目の古い歴史と伝統を持ち、学校は緑あふれる落ち着いた美しい里にあります。校庭にはかつて美里村を山火事から救った「火返し池」、創立100周年記念の「琢美の大石」、樹齢100年のガジュマルの大きな木があり、学校のシンボルと

なっています。地域には、本校出身の住民が多く「ワッターガツコウ（我校）」として協力を惜しまない保護者・地域の支援のもと、『信頼される学校づくり』に取り組んでいます。価値観の多様化、社会の変化が激しく進む中で、沖縄のユイマール精神（助け合いの心）に学び、豊かな心と主体的にたくましく生きていくことのできる人間の育成を目指し、学校は、家庭・地域社会との連携を深め、児童の生活の充実と教育活動の活性化を図るため、それぞれ教育機能を発揮することが最も重要です。

「地域や学校のよさ」を生かす教育活動

学校支援地域本部事業は、学校・家庭・地域が協働で子どもたちの健やかな成長をはぐくむ体制づくりをするこ

とが大切です。そのためにはコーディネーターの役割として「地域をよく知り、学校教育に理解と協力を惜しまない方」が重要と考え、本事業の趣旨が地域に伝わり、地域人材を効果的に活用し、地域の教育力の活性化を目指しました。

ここでは、本校区の自治会・老人会・婦人会・青年会・子ども会の組織との連携を図り、学校教育活動等で連携してきた取組を紹介します。

○学習支援隊

学力については、本校においても大きな課題となっています。「確かな学力の向上」を目指し、毎週金曜日に補習の時間として「基礎・基本トレーニングタイム」を設定し、算数の採点補助、支援を必要とする児童のサポート等を丸付けボランティアの協力のもと取り組んでいます。子どもたちの学校での様子が分かり、子どもたちの笑顔に楽

しむボランティアが増えていきます。

○安全確保隊（スクールガード）

本校は交通量の多い国道に面し、登下校時の子どもたちの安全確保は切実な問題でした。PTAによる安全立看板の設置や保護者の交通安全指導に加え、地域のボランティア（警察OB・老人会・シルバー人材センター）が参加したスクールガードを立ち上げたことで、事件・事故の未然防止に役立っています。

○環境整備隊

校庭に樹齢100年近くのガジュマルの木が多く、高さ20mのプラタナス、椰子の木があり、年3回のPTA奉仕作業だけでは間に合わない状況の中、地域の方に朝夕の登下校安全指導の傍ら日常的に、校庭の草刈り・樹木の剪定をしていただいています。地域の企業、老人会等の組織的にかわりにより、清掃活動・環境整備・樹木伐採・剪定

等で国道に面する校門前の見通しが良くなり交通事故の危険性が激減しました。

○部活動指導隊

小学校では部活動のほとんどが地域や保護者のボランティアで運営され、地域の指導者と学校職員との連携が必要となっています。そこで、部活動指導者の連絡協議会を発足し、下校時間等の共通理解、部活動児童の学校生活の様子を知らせ、学校との連携を図っていきました。野球部・男女ミニバスケット部・サッカークラブ・新体操クラブ・音楽部とも、沖縄だけでなく九州でも大活躍しています。

○地域素材・人材の計画的活用

保護者・地域のボランティアを募り、



樹齢100年を超えるガジュマル



美里小学校地域本部事業構想

織り「美里焼き」等を取り入れ、「火返し」の池「琢美の大石」「ガジュマル等の樹木」「泉川」を残し、地域文化の発祥地としての役割が期待されています。地域連携室や地域開放ゾーンアトリウム」の建設等を盛り込んで、いよいよ平成23年度から工事着工の予定です。

成果と課題

成果としては、地域3自治会の子ども会を取り組んでいる子どもエイサーを夏祭りや運動会で披露させることにより、地域の伝統文化の継承ができたことと喜ばれています。子ども会への参加も増え、地域の子どもは地域で育てる



3地区の青年会の指導による運動会エイサー演技

基盤ができつつあります。また、地域と連携した組織体制が構築され、家庭・地域・関係機関・団体との緊密な連携、児童の安全確保により事件・事故が減少しました。「学校支援地域本部事業」のおかげで日頃の環境整備や部活動指導にかかわる人たちの保険加入ができ、安心してボランティアに従事してもらう事が出来ました。

課題としては、地域人材の依頼と調整や家庭・地域・関係機関団体との情報連携のネットワーク化の充実・強化があげられます。さらに組織体としての機能を高めるために教職員の地域連携に対する意識の高揚とミドルリーダーの育成が大切です。

沖縄のユイマール精神に学び、豊かな心と主体的にたくましく生きていくことのできる人間の育成を図るため、地域の文化を教育活動に取り入れ継承していくための教育活動を教育課程に位置づけ「特色ある教育活動」を推進しているところです。地域の教育力を高め、社会に貢献できる子どもたちを育てるため、学校教育力を活性化させ「信頼される学校づくり」に職員一同、全力で取り組む所存です。

(校長 宇良永子)